



立志 栗中だより

学校だより
足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努
令和5年12月11日
<http://www.adachi.ed.jp/adku>

「文化を創造する」

校長 豊崎 努

12月に入りました。令和5年もあとわずかです。そして、令和5年度も残り4ヶ月足らずとなり、そろそろ「まとめ」や「新しい〇〇」を意識する時期になった気がします。

12月というと「歓喜の歌」とも呼ばれる「第九」（ベートーヴェン作曲 交響曲第9番ニ短調作品125）が多数演奏される「文化」的な慣習があります。

ということで、たまには音楽科（音楽家）らしい話をしてしたいと思います。

コロナ禍のため、ここ数年は演奏回数が減っているものの、コロナ禍前、日本では毎年12月だけで、150回もの「第九」の演奏会が開かれていました。「年末は第九」というイメージは、クラシック音楽にそれほど興味のない人でも感じているのではないのでしょうか。しかし、世界中をみても年末に「第九」をこれほど演奏する国は日本くらいしかありません。つまり「年末に第九」という「文化」は、日本が「創造」ということです。

日本での「年末に第九」という「文化」が「創造」された経緯には諸説あることをお断りして進めていきます。

日本国内で初めて演奏されたのは、第一次世界大戦中の1918年（大正7年）6月1日、徳島県板東町（現・鳴門市）にあった板東俘虜収容所で、交戦国であるドイツの捕虜によるものだというのは通説のようです。捕虜となった兵士だけの演奏なので、楽器はそろっておらず、合唱や独唱も男声だけの不完全な初演ではありました。とはいえ、これは「文化」が始まる確かなきっかけです。

その後、1936年（昭和11年）に、当時の新交響楽団の常任指揮者に就任したローゼンストックというユダヤ人指揮者が、母国ドイツでの「第九」の価値と思いを伝えたり、第二次世界大戦中の1943年（昭和18年）12月、東京音楽学校（現東京藝術大学音楽学部）で、遂に徴兵令が出された音楽学生徒たちの壮行（大会など遠征に行く人を激励する）演奏会で、第4楽章（「歓喜の歌」）を演奏するなどエピソードを重ねます。

そして、戦後となった1947年（昭和22年）、焦土と化した東京にも文化の火が復活します。とはいえ、多くの日本人が生きていくのが精一杯、さらにオーケストラの団員たちは、新しい年を迎えるにも、「餅代」すらない状況でした。そこで、このように特別な意味のある「第九」の演奏会を年末に開催し、多くの聴衆を集めることを考えました。「第九」はオーケストラだけでなく100人規模の合唱と4人の独唱者が必要です。演奏の大規模さと「歓喜」「平和」「勝利」を歌う詩の内容も年越しを大切にしている日本人に合っていたのでしうし、合唱団員の家族や知人がチケットを買ってくれることから、演奏会場は満員になりました。新たな「創造」の大きな成果です。こうして「年末に第九」という「文化」が日本に定着し、現在につながってきます。

ベートーヴェンの「第九」は1824年にイギリスの音楽協会からの委嘱で作曲されました。はじめはそれまでの交響曲の通例通り、オーケストラのみが演奏する、4楽章の交響曲にするつもりだったようです。ところが、なかなか作曲が進まず、なんとか第3楽章まで作曲したものの、いよいよ約束の期限が近づいてきます。耳が聞こえず、主な収入が作曲のみであったベートーヴェンは、この作品がお金にならないというのは困ります。そこで、若い頃から作曲を試みていた、シラーという詩人の「歓喜に寄す」という詩を第4楽章で合唱と独唱に歌わせるということを発想し、実現させてしまいます。「交響曲」という「文化」に「独唱・合唱を入れる」という大胆な「創造」を加えたわけです。

本校では、11月3日（金）に学習発表会、11月11日（土）に1、2年生のグループ立志発表会を行いました。栗島中学校の最大の文化的行事です。どの発表もたくさんの工夫のある立派なものでした。そして何より、毎日の学習や練習の積み重ねが生きた発表だったことが大きな成果です。

昨年度、今年度の発表を見て、確かにそれまでの先輩たちが作った「文化」の背中を追っているものの、それだけでなく、新しい視点や工夫がそこそこあったと感じました。栗島中学校の「文化」も、絶えず「創造」をしながら、少しずつ前へ前へと進んでいるということに、大きな手応えを感じます。

「文化」は守るだけではなく、「創造」しながら育てていくもの。そのようなことに思いを致す令和5年の年末です。

○ ● 令和5年度 学習発表会（舞台の部） ● ○

11月3日（金）に、学習発表会舞台の部を行いました。当日は、たくさんの保護者・地域・ご来賓の皆様、また、卒業生にも多く参観いただきました。ありがとうございました。『We can do it!～響かせろ 僕らの勇気を～』のスローガンのもと、実行委員が当日に向けて準備をし、舞台に立つ1人1人が何度も練習を重ねて、当日最高の発表をみせてくれました。舞台に立たない1、2年生も一緒になって、会場が1つになった令和5年度の学習発表会となりました。

国語弁論

- | | |
|------|---------------|
| 1年2組 | 『自分事』として考えるには |
| 2年2組 | 「気のもち方」 |
| 3年1組 | 「八方美人」 |
| 3年2組 | 「なぜ、努力できるのか」 |

国語弁論では、全校生徒が原稿を書き上げます。そして、各クラスで代表を選び、学年代表を選出しています。どの弁論にも、自分の思いが詰まっており、中学生としてどう考えるか、何をみんなにうたえていくか、そして、聞いている人に投げかけやアドバイスなどがありました。ただ読み上げるのではなく、ジェスチャーをつけ、目の前で聞いている人をしっかりとみて伝えることができていました。



英語スピーチ

- | | |
|------|-------------------------------|
| 1年1組 | “The memory of Uonuma” |
| 2年1組 | The Japanese “Mottainai” |
| 3年2組 | “How Do You Learn English?” |
| 3年2組 | 子 “No Entertainment, No Life” |

英語スピーチは、各学年より希望者をつのり、原稿を書き上げ、それを自分の言葉にしてジェスチャーや間の取り方を工夫して発表しました。学年があがるごとに、内容も深まり、ユーモアも入ってきて、聞いている方も興味深いものがありました。また、翻訳が映し出されてもいましたが、それを見なくても、目の前の人たちに伝えようとしている姿勢が強くあったため、すべてを理解できなくてもなるほどと思えるシーンがたくさんありました。



ダンス部

今回の発表が、3年生にとっては最後の舞台となります。外部指導員の藤代さん指導のもと、3年間練習に励んできました。1人1人がそれぞれが動きを練習したり、全員でそろえてフォーメーションを工夫したり、表情もつけたりと様々な工夫がみられました。3年生とともに取り組んできた1、2年生も、自分たちの練習の成果を精一杯出してくれました。動きのキレと、ユーモアと、楽しめる音楽と、会場が一体となってダンスを楽しみました。



吹奏楽部

3年生が中心となって練習を積み重ねてきた吹奏楽部、今回の発表では楽しんで演奏している様子がありました。夏のコンクールで演奏した曲から始まり、コンクールの時とはまた違った緊張感があり、素晴らしい演奏を披露してくれました。顧問の先生も演奏に加わり、きれいなハーモニーと迫力で会場全体を巻き込んでの演奏となりました。アンコールでは、ダンス部のダンスとともに会場全体を盛り上げてくれました。



5組 朗読劇「三コ」

5組の朗読劇では、劇を進め、物語を作る「ナレーター」、演技と台詞で気持ちを伝える「キャスト」、民謡と踊りで元気を届ける「踊り」、音楽で舞台を盛り上げる「演奏」、リズムに合わせて一丸になって行う「群読」に配役されて物語が進みました。台詞を覚え、力強く言ったり、優しく言ったりと言い方を工夫したり、動きを工夫したり、気持ちをそらえて群読したりして朗読劇を作り上げました。また、音楽やダンスで、さらに発表を盛り上げてくれました。



3年生グループ立志発表

栗島中伝統の立志。1年生から積み上げてきた集大成となる発表をしてくれた3年生。4グループそれぞれが工夫をしたり、ユーモアを取り入れたりしながら、素晴らしいものを見せてくれました。

SDGsの17の目標から自分たちで選び、その目標がどのようなものなのか、自分たちは何ができるのか、その目標を達成するためにどんなことができるのかなどを自分事としてとらえ、深く考え、提言として発表してくれました。

- ～Aグループ (SDGs 16 : 平和と公正をすべての人に)～
- ～Bグループ (SDGs 14 : 海の豊かさを守ろう)～
- ～Cグループ (SDGs 5 : ジェンダー平等を実現しよう)～
- ～Dグループ (SDGs 10 : 人や国の不平等をなくそう)～



★ ☆ 連合音楽会 ☆ ★

11月7日(火)に、ギャラクシティで足立区連合音楽会が行われ、吹奏楽部が参加してきました。3年生にとっては最後の発表となり、学習発表会で演奏した曲を演奏し、集大成として素晴らしい演奏を披露しました。今回の経験を通して、1、2年生が来年に向けてまた新しいものをつくっていかけてくれることでしょう。



○ ● 1、2年生立志発表 ● ○

11月11日(土)に、1、2年生の立志発表を行いました。3年生の学習発表会での舞台を見て、自分たちの目標ができたこともあり、1年生も2年生も完成度の高い発表をみせてくれました。グループごとに楽しんでいる様子もあり、観衆を巻き込んで一体感のある発表となりました。当日は多くの保護者の方々にもお越しいただきましてありがとうございました。



○ ● 5組 3年生 校内実習 ● ○

11月14日(火)から16日(木)までの3日間、5組の3年生が校内実習を行いました。「あすなる制作所」と銘打ってコロナ禍から始まった校内実習も、回を重ねて実習内容も充実してきました。実際に仕事をしているときと同じように名札をつけ、お互いの呼び方を変え、取り組む時間も普段の授業時間よりも長い2時間の時もありました。それでも1つ1つの作業を丁寧に進め、集中して作業に取り組んでいました。



●○1月の主な予定○●

7日(日) 冬季休業終	9日(火) サポーターズアイ回収
13日(土) 土曜授業、道徳授業地区公開講座、PTA運営委員会	
18日(木) 2年生GTEC	19日(金) 実用英語技能検定
22日(月) ～2月17日(土) 学習発表会展示	
23日(火) 社会科コンテスト	24日(水) 栗島小中連携研修
26日(金) 都立推薦入試、2年生校外学習	27日(土) 都立推薦入試
30日(火) 5組、都バスケットボール大会	